

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 9 月 8 日 (2005.9.8)

【公開番号】特開 2003-279968 (P2003-279968A)  
 【公開日】平成 15 年 10 月 2 日 (2003.10.2)  
 【出願番号】特願 2002-84296 (P2002-84296)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 F 1/1335  
 G 0 2 B 5/30  
 G 0 2 F 1/13357  
 G 0 2 F 1/13363

【F I】

G 0 2 F 1/1335 5 2 0  
 G 0 2 F 1/1335 5 0 0  
 G 0 2 B 5/30  
 G 0 2 F 1/13357  
 G 0 2 F 1/13363

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 15 日 (2005.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 電極が形成された第 1 基板と、前記第 1 電極と対向する面側に第 2 電極が形成された第 2 基板と、前記第 1 基板と前記第 2 基板との間に挟持された液晶層とを備える液晶セルを有し、前記第 1 基板の前記液晶層側に、所定の回転方向を持つ楕円偏光若しくは円偏光のうちの一部を反射させ、一部を透過させる第 1 コレステリック液晶層を有する半透過反射層が備えられた液晶表示装置であって、前記半透過反射層内には、前記第 1 電極と前記第 2 電極とが対向する画素領域の境界領域に対応して遮光膜が設けられ、前記遮光膜を含む前記半透過反射層と前記第 1 基板の間に第 2 コレステリック液晶層が設けられていることを特徴とする液晶表示装置。

【請求項 2】

前記液晶層は、入射した楕円偏光若しくは円偏光の回転方向を反転させることができるものであることを特徴とする請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 3】

前記液晶セルに対して前記第 1 基板側から光を入射させる照明装置が備えられたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の液晶表示装置。

【請求項 4】

前記第 2 基板の外面側および前記第 1 基板の外面側には楕円偏光入射手段が設けられ、前記楕円偏光入射手段が一方向の直線偏光を透過する偏光板と該偏光板を透過した直線偏光を楕円偏光に変換する位相差板とを有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置。

【請求項 5】

前記位相差板が 1 / 4 波長板であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置。

## 【請求項 6】

前記第 1 コレステリック液晶層は、前記画素領域毎に所定の色光の一部を反射させ、一部を透過させるとともに、前記第 2 コレステリック液晶層は、前記画素領域毎に前記所定の色光の補色となる色光を反射可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置。

## 【請求項 7】

前記半透過反射層の第 1 基板側において、異なる色光を反射可能な 2 以上の前記第 2 コレステリック液晶層が接していることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の液晶表示装置。

## 【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の液晶表示装置を備えたことを特徴とする電子機器。